

ご挨拶

大阪支部長 山本 進



関西潜水連盟創立40周年誠におめでとう御座います。

ついこの間創立30周年とと思っている内に10年が過ぎ創立40周年を迎えました。

創立から約20年が過ぎた1986年全日本潜水連盟より脱退し、独自の関西潜水連盟

としての活動を開始しました。1988年フィリピンでのITC(インストラクタートレーニングコース)から始まり、1998年の30周年記念総会では多数の指導団体から祝福を受けたのがまるで昨日の事のように。

その後 兵庫支部に所属する大西さんの努力により1999年舞鶴支部が設立され、2003年KD Japan トレーニングセンター指定制度も発足、引き続き、村上名誉会長、大西舞鶴支部長の協力の下2005年沖縄支部が設立され、2007年沖縄での総会を開催できた事は今後、関西潜水連盟が発展していく上での大きな進歩だと感じています。

それに前後し潜水技術・医学・器材の進歩と共に私達連盟も改革・改正が進み、同時に役員の若返りが必然的に行われ、ダイビングマニュアル、インストラクターマニュアル、レスキューマニュアル、安全潜水基準が順次完成していき、また、新しく会員の保険等、内容が充実してきました。

一般的なカード発行団体とは一線を引いた本当の意味でのダイバーの為の指導団体と言えるでしょう。

会員の皆様、支部役員並びに本部役員の方々、才木会長、玉田理事長、さらなる関西潜水連盟発展のためにより一層の活動をお願いいたします。

大阪支部でも現在4名の1スターインストラクターの養成を行うなど、微力ながらも一層の活動を続けていきたいと思っております。